

職能開発科 Challenge

私たちが目指すもの

生徒たちは校内での学びとともに、職場見学や移動教室、現場実習等の外での体験的な学習によって、普段とは異なる成長が見られます。本校は普通科時代から**地域社会と連携・協同した学習**ができないか模索をしてきました。過去の経験から、地域社会や産業界等の力を借りることによって、生徒たちがのめり込むような授業が展開できることを目の当たりにしてきたからです。

双方のねらいや目的に折り合いがつかず上手くいかないこともありましたが、長年にわたって挑戦してきた取組が本校の土台となって今、ようやく花開いたという思いでいます。

■ より良い連携を模索

連携の在り方

Point

- ・ 社会に出る上で**社会人・職業人としての知識・経験豊富な方の教育活動への参画が不可欠**
- ・ **産業界との連携**について
学校『受け入れ先の確保が困難』
企業『**学校側から支援要望がない**』

【H23.1.31今後の学校におけるキャリア教育・職業教育の在り方について】

【H27.1.29 本校学校運営連絡協議会資料】

- ①教育活動に賛同してもらえる地域社会や企業があること
- ②双方の思いを共有できるかが大切であること
- ③生徒への還元方法を明確にしておくこと 等が、実践から見えてきました。